

T・G・A・L～校長室だより～

令和2年7月3日（金）発行 第7号

○ ある日の朝 ～梅雨とコロナウィルス感染症対策～

ある日、梅雨の時期でもあり、朝から雨が降っていました。槇野先生が吹くトランペットの音色が聞こえてきます。

男子ソフトテニス部員がほうきやブラシ、じょうろで水を撒いて「内観の庭」の周りをきれいにしていました。

2階の渡り廊下では間隔をとって、野球部が素振りの練習を、1階の渡り廊下ではサッカー部が距離をとって向かい合いトラップの練習に取り組んでいました。

生徒棟1階では「朝の勉強会」に静かに取り組んでいる様子が見られました。

制約のある環境の中で、前向きに取り組む姿勢は、皆さんの、人としての『軸』を作っていくのだから、と思いました。



○ 教育相談を実施しました。

6月下旬に1週間をかけて、放課後を中心に教育相談を行いました。今年は新型コロナウイルス感染症対策として、生徒と先生が向かい合わないよう実施しましたが、いかがだったでしょうか。

この教育相談週間後に、質問紙QUテストを実施しました。教育相談もQUテストも皆さんにとってより良い学校生活を送るために実施したものです。

校門の入口にある案内黒板が7月バージョンに変わりました。生徒会長の難波君が「やっと行事が書ける」と言いながら、黒板に行事を書いています。

1学期もあと1か月。皆さんにとってより良い学校生活が送れますように・・・
(もうすぐ七夕なので。)

○ ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる。(鍵山 秀三郎)

先日部活動が終わって、生徒のみなさんが下校したかな、と思っていたら、Aさんが自転車を押して遅れて出てきました。そばにいたB先生が理由をたずねると、自転車置き場に散らかっていたナイロン袋を拾っていた、とのこと。それを聞いていた周りの先生方と私は、Aさんの行動に癒されました。